



～要配慮者と考える～温泉防災EXPO in伊香保 観光地で災害弱者の「防災」を考える

9月27日に伊香保体育館で、～要配慮者と考える～温泉防災EXPO in伊香保が開催されました。会場には、防災やSDGsに関する活動を行う50以上の団体のブースが並び、ステージではセミナーやコンサートなどを実施。借り上げ福祉避難所体験講習も行われ、旅館の従業員などが参加して、避難所の運営に必要な基礎知識を学びました。



公共空間などを活用した実証実験 憩いの空間作りを目指して



9月25日から29日まで市役所本庁舎駐車場で、公共空間を活用した実証実験として、キッチンカーやテントでの飲食物などの販売を行いました。まちなかのにぎわい作りを目的に、さまざまな料理などが販売され、お昼時には、来庁者など多くの人でにぎわっていました。

子持地区スポレク祭 レクで楽しく交流を深める



10月8日に子持中学校で、子持地区スポレク祭を行いました。これは、今までの子持地区市民体育祭をリニューアルしたもので、玉入れやお菓子取り走など全6種類のレクリエーションを実施。さまざまな世代の人が、種目を通して交流を深めました。

サイクリング赤城2023・赤城山一周ライド 秋晴れのもと笑顔でスタート

10月14日に、自転車で赤城山の麓約100kmを1周する「サイクリング赤城2023」が行われました。これは、赤城山周辺6市村共催のイベントで、渋川地区では、木暮組スポーツパーク赤城から18人がスタート。会場には、いしだんくんも登場し、参加者は、さわやかな秋晴れの中を笑顔で走り出しました。



第31回たちばな古里まつり・たちばな湖上花火大会 約1,850発の花火が古里の夜空を彩る

9月24日に愛宕山ふるさと公園で、たちばな古里まつりが開催されました。これは、子どもたちの郷土愛を育み、北橘地区の魅力向上を目的に開催したものです。北橘中学校の3年生が古代人の衣装で行進する「古代行列」のほか、夜には湖上花火大会が行われ、花火を観覧した女性は「4年ぶりの花火がとてもきれいで感動した」と話していました。



健康遊具の使い方を学ぶ健康づくり教室 のびのびと学ぶ健康づくり



9月20日に赤城健康公園で、健康遊具の使い方を学ぶ健康づくり教室を開催しました。参加者は、健康運動指導士の指導を受け、12種類の健康遊具の使い方を体験。参加した男性は「器具の使い方を教わって運動できてよかった」と話していました。

伊香保小学校創立150周年記念事業 147人で150周年を祝う



9月22日に伊香保小学校で、創立150周年を記念した航空写真撮影が行われました。伊香保小・中学校の在校生や地域住民などが参加し、児童がデザインした温泉のマークで人文字を形成。参加した児童は「これからもみんな仲良しな学校であってほしい」と話していました。

「手話言語の国際デー」ブルーライトアップ 手話言語への理解促進に向けて

9月23日に伊香保温泉街で、「手話言語の国際デー」に合わせて、ブルーライトアップとセレモニーが行われました。これは、手話が言語であるという認識が広がることを願って開催されたもので、伊香保地内の全日本ろうあ連盟結成の地記念碑や石段街のだんだん広場など3カ所が、鮮やかにライトアップされました。

